

# 令和3年度環境学習リーダー 養成講座

未来の地球・子どもたちのために私たちができること

オンライン  
開催

● **日時**／10月7日・17日・27日

11月7日・18日【裏面参照】

午前の部 10時～、午後の部 14時～

● **定員**／100名(応募多数の場合抽選)

☆希望の講座のみの受講もできます

● **対象**／神奈川県内在住、在勤、在学の高校生以上の方

☆8割以上出席した方には修了証を授与します！

● **参加費**／無料(受講に係る通信費用は受講者の負担となります。)

● **開催方法**／Zoomによるオンライン開催(ライブ配信)

※受講申し込み者は、オンデマンドによる視聴も可能

● **講座内容**／

気候変動、生態系保全、SDGsなど環境の専門分野の講師による基礎から最新のトピックスまで含めた講義や、環境保全活動団体の講師から、実践的なスキルを学びます。

※詳しくは裏面のプログラム参照のこと。

## 参加申込み

◆「応募フォーム」または「はがき」に、

①申込み講座名(環境学習リーダー養成講座)、②郵便番号・住所、③氏名(ふりがな)、

④電話番号、⑤メールアドレス【①～⑤はすべて必須項目です。】を明記のうえ、

9月24日(金)(必着)までに、お申込みください。

応募者多数の場合は抽選により参加者を決定します。

【応募フォーム】環境科学センターHP「講座・イベントのお知らせ」

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/b4f/kankyougakushu/>



## 令和3年度環境学習リーダー養成講座 < 日程表 >

日 時	テーマ	内 容	講 師	
1日目 10月7日 (木曜日)	10時～	神奈川県環境の現状と課題・気候変動と県の取り組みについて	県内の大気や水の環境について、最新の状況をモニタリング結果や調査結果を交えてお伝えします。また、気候変動について、県内の影響や関連した調査結果などをお伝えします。	神奈川県環境科学センター 環境活動推進課 課長 小松宏昭 副技幹 齊藤裕佳
	14時～	気候変動とその予測についての考え方	我々を取り巻く気候の成り立ちと、その変動のしくみを解説します。さらに、人間活動の影響が関わる気候変動の将来予測と予測信頼性について、最新の科学的な知見も交えて紹介します。	(国研)国立環境研究所 主任研究員 廣田渚郎氏
2日目 10月17日 (日曜日)	10時～	「かながわ水源の森林づくり」の取組について	神奈川県が進める水源環境保全・再生の取組のうち、水源かん養など森林の持つ公益的機能の向上を目的に行っている「水源の森林づくり事業」について紹介します。	神奈川県水源環境保全課 副技幹 村松広氏
	14時～	生物多様性と自然共生—守るべき“豊かさ”とは何かを考える—	本講座では、地球上の生物の多様性に関する基礎的な知識を習得するとともに、人間生活に欠かせない資源としての見方からその“豊かさ”を守る重要性を認識し、受講者個人の見解を形成することを目的とします。	(公財)地球環境戦略研究機関(IGES) 国際生態学センター／(本部)生物多様性と森林ユニット(兼任) 主任研究員 矢ヶ崎朋樹氏
3日目 10月27日 (水曜日)	10時～	市民活動について	ボランティア活動をはじめとする市民の公益的な活動を支える組織の成り立ちや運営方法を実例とともに解説し、今後について考えます。	(一社)ソーシャルコーディネートかながわ 代表理事 手塚明美氏
	14時～	SDGsの本質と取組のポイント	社会に広く浸透しつつあるSDGsについて、本質的な理解とそれに基づく行動を促すことを目的として、SDGsの背景と特徴、取り組みのポイント、具体的な取組事例等を解説します。	(公財)地球環境戦略研究機関(IGES) リサーチマネージャー 小野田真二氏
4日目 11月7日 (日曜日)	10時～	環境学習プログラムの設計に役立つ基礎理論 ～安全で楽しい講座を目指して～	環境教育を通して習得を目指す能力や行動の理論、学習者の発達段階にあわせたプログラムの設計方法など、より良い環境学習プログラムを作るために必要な基本的知識を学びます。	国土館大学 専任講師 国立環境研究所 客員研究員 森朋子氏
	14時～	子どもに伝える環境学習「植物ジュニアレンジャー養成講座」から	子ども達を対象とした「植物ジュニアレンジャー養成講座」の実践例をもとに、講座を実施するにあたっての考え方や方法など、活動実践者に必要なスキルについて説明します。	(非営)神奈川県環境学習リーダー会 副代表 吉岡嗣二郎氏
5日目 11月18日 (木曜日)	10時～	SDGsは誰かの目標ではなく、私の、あなたの目標です	各種リサイクル法における消費者の役割をわかりやすく、特に今関心の高い海ごみとプラスチック資源循環促進法の関係などを解説。「楽しく学ぶ容器包装の3R」の動画を紹介しします。	(非営)持続可能な社会をつくる元気ネット 理事長 鬼沢良子氏
	14時～	食品ロスの削減に向けて～食品ロスの現状と課題～	食品ロスは生産、製造、販売、消費等の各過程で発生し、その削減には事業者、県民がこの問題を自分事として捉え、行動することが必要です。そこで、食品ロスの現状と課題、県の施策等について講義します。	神奈川県資源循環推進課 副技幹 小島公平氏

※各講座は、受講申し込み者に限りオンデマンド視聴が可能です。

※Zoomの視聴用URLやその他の連絡はお申込時に登録されたメールアドレス宛にお送りいたします。